



西中だより

教育目標

豊かな人間性を培う
創造 自律 敬愛 健康

令和7年12月25日発行
第9号

「一年の振り返りを自信に変え、新たな一歩を」

余市町立西中学校長 豊田 一正

寒さが一段と厳しさを増し、早いもので今年も残すところ数日になりました。生徒たちは今年度160日の登校を終え、一年の4分の3が過ぎたこととなります。2学期は一番長い学期で、学校祭や各種テスト、教育相談、公開研、余市町への提言、三者面談などがありました。

この間の生徒の様子を見ると、1年生は中学校生活にすっかり馴染み、昼休みは体育館や談話室などで楽しそうに過ごしています。授業にも意欲的な姿勢が見られますが、徐々に個人差が出てきたようにも感じることがあるので、粘り強く取り組み、力をつけてほしいと思います。2年生はこの時期は「中だるみの時期」と言われます。明るい雰囲気があり大きな声で挨拶できる人が多くいて良いと思いますが、時に場の空気に流されてしまう面も感じられます。学習、生活面共にメリハリをつけ、西中を良い方向にリードしてほしいと思います。3年生は希望進路が決まり、後は自分のために努力するだけなのですが、意識や意欲の面で個人差がみられることがあります。高校に入ることがゴールではありません。将来のことを考え、今できることにベストを尽くすことです。また、残された中学校生活がより有意義になるような行動を心がけてほしいと思います。



これまでの様子を振り返り、どの学年も成長しました。生徒のみなさんにはこの機会に自分を振り返り、「もう少し頑張れば良かったなあ」と思うことはすぐに行動することを期待しています。

さて、明日から冬休みが始まり家庭で過ごす時間が増えますが、お子さんのゲームやSNSの使い方、使用時間はいかがでしょうか。ゲームは楽しいものですし、SNSは今の私たちの生活に深く根付き、知りたい情報をすぐに得ることができたり、友だちとの交流、趣味など様々な場面で利用され、生活を豊かにする魅力あるツールになっています。一方で使い方を誤ると、私たちの心や行動に悪影響を与える可能性もあります。最近では生成AIによる画像加工やディープフェイクの悪用などもあるようです。また、新聞には毎日振り込め詐欺の記事が載っていて、「どうしてだまされるのだろう」と思ってしまう。

このような状況に対して、先日オーストラリアはネット上の危険から子どもを守るため、「16歳未満のソーシャルメディアの利用を禁止する法律を施行した」というニュースがありました。そして、このニュースと同時にすでに子どもたちは「どう規制をすり抜けるか」を考えたり、行動している様子もニュースになっていて、改めて難しさを感じました。

中学生に起こりそうな問題点

- SNS依存（疲労や脳への影響）
- いじめ（被害者、加害者）
- 個人情報の流出
- 他者への誹謗中傷
- 性被害
- ゲームへの課金 など

SNSに関しては私たちより子どもたちの方がずっと上手で指導が難しいことですが、「家庭でのルールづくり」が大切だと言われています。そして、ルールを決める際は一方的に決めるのではなく、子どもとしっかり話し合うことが大切だと言われています。やはり、家庭でのコミュニケーションは大切なことですよね。冬休み中は、お子さんと学校のことや将来のことなど話す時間を多く取っていただきたいと思います。また、どんどんお手伝いをさせてあげてください。

冬至も終わり、これからは日が日ごとに長くなります。このことから「一陽来復（いちようらいふく）」と言って運が上向き、力が湧いてくるとされています。1月15日の始業式には、生徒の自信と意欲に満ちた笑顔と気持ちの良い挨拶を期待しています。

最後になりましたが、保護者、地域の皆様には日頃より本校教育の推進にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。